

「インターネット上に、書き込みするとき、大切なことは」

なまえ

1 前回の授業で行ったチャットゲームの感想です。

ゲーム後の感想では、「楽しかった」と答えている人がたくさんいました。

楽しい 29人

- たくさんの人と話せたから
- 自分の言いたいことが書けたから
- 本音で言えたから
- 直接言うより、書く方が良い
- おもしろいコメントが多かったから
- 誰かわかるときがあったから
- 秘密をばらすかんじが楽しい
- 個人名が出てきたとき

楽しくない、嫌な気分 3人

- 個人に対する悪口があったから
- 言葉が汚かった
- 反応がないから



みんなも気がついたとおり、このゲームはインターネットでも楽しむことができる内容でした。インターネット上には、「チャット」「掲示板」「ツイッター」などの自分の意見やつぶやきを世界中の人に見てもらえ、返事を書いてもらえるサイト（ページ）があります。

2 では、あなたが発信した意見やつぶやきに対して、クラスみんなが返事を書いてくれたプリントを返します。みんなの返事を読んで、感想を書いてください。

3 わかったことや感想を書きましょう。

4 アンケート

1. インターネットのチャットや掲示板などを利用したことはありますか。	はい	いいえ
2. 掲示板などに書き込みをした人が、わかることを知っていましたか。	はい	いいえ
3. この授業の内容は、大切だと思いますか。	はい	いいえ
4. 今後、インターネットを使うとき、学んだことを意識しようと思いますか。	はい	いいえ

6 学年 3 組 情報モラル学習指導案

目標

チャット，掲示板，ツイッターなどの良い面と悪い面を理解させた上で，相手のことを思いやり，より良い人間関係を築こうとする態度を養う。

- ・ 掲示板やチャットを利用するときに，注意しなければならないことを考える。
- ・ 掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーについて考える。
- ・ 誹謗中傷の犯罪性と自己の発言責任をしっかりと認識する。

題材「チャット・掲示板体験」

題材設定の理由

「メール，掲示板，プロフなどでの悪口・嫌がらせ体験」については，小学生では体験の割合は低いですが，中学生では体験の割合は急増する。したがって，インターネット上の誹謗中傷に対する指導は小学生の段階で行う必要がある。

「掲示板」の体験を行い，軽率な書き込みをすることが，他者の気持ちを侵害する恐れがあることを実感させることで，相手を思いやり，より良い人間関係を築こうとする態度を養うことを目指す。

指導過程

学習の流れ	教師の支援・留意点
1. 体験を通して，チャットや掲示板の良い点を考える	チャット体験後の感想を紹介し，楽しかったと答えた人が多かったことを伝える。
2. 自分の意見に対する返事（レス）を読んで，感想を書く。	自分の意見や考えに対する返事に不快な内容のものがあつたことを気づかせる。
3. 感想を発表する	
4. 「事例で学ぶNetモラル」で，チャットや掲示板に書き込みをする時の留意点を知る。	体験ソフトで，チャットや掲示板を利用する時の留意点を考えさせる。
5. チャットや掲示板を利用する時，大切なことを考える。	匿名だから，誰がどんな立場でどんな視点で意見を書いているかわからないこと，正しい情報かどうか疑わしいこと，質問などに安易に答えると誤解を招くこと，実名やメールアドレスを公開されて誹謗・中傷されることに気づかせる。
6. トラブルにあつたときの対処方法を考える。	意見を発信する・返信をする時のマナーや誹謗中傷することの犯罪性を理解させる。
7. アンケートに答える。	家族や先生に相談をする。掲示板の管理者に削除を依頼する。悪質な時には，警察に連絡するように伝える。